

## 0)CS-Tokyoの設立

災害協働サポート東京(CS-Tokyo)は、東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議(事務局:東京ボランティア・市民活動センター)の幹事団体を中心となって設立された東京都域の民間団体による、いわゆる災害中間支援組織です。災害時に多様な団体が連携/協働して被災者支援活動に取り組むために、災害前から防災/減災活動を通じて連携/協働していくことを目指しています。2014年から設置されている東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議で東京都や関係団体と共に議論を重ねながら設立されました。

### ① 設立総会の開催

日時:2022年8月17日(水)11時00分~12時10分

場所:東京都生活協連会館3階会議室(オンライン会場とのハイブリッド開催)

出席:9団体(その他オブザーバーとして114名が参加)

挨拶:災害協働サポート東京 顧問(予定) 青山侘 様

祝辞:東京都生活文化スポーツ局都民生活部 部長 馬神祥子 様

応援メッセージ:

全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター長	高橋良太 様
日本生活協同組合連合会 会長	土屋敏夫 様
連合(日本労働組合総連合会) 会長	芳野友子 様
静岡県ボランティア協会 常務理事	鳥羽茂 様
とちぎボランティアネットワーク 理事長	矢野正広 様
宇和島市社会福祉協議会	松井尚史 様
災害支援ネットワークlwaki 会長	馬目一浩 様

### ② 法人格の取得と事業の開始

一般社団法人格の取得(法人設立日) :2023年9月28日(水)

事業開始日 :2023年10月1日(土)

## 1)2022年度事業方針

災害協働サポート東京(CS-Tokyo)の初年度は、法人としての運営体制を整備するとともに、当団体を多くの関係団体に知っていただく周知・普及の取組みを意識して実施し、東京における防災・減災の取組みの充実を図りました。同時に東京都災害ボランティアセンターアクションプランに基づいた事業に取り組ましました。

## 2)事業

### (1)情報共有・ネットワークづくり

発災時の取り組みである災害対策、被災者支援に加え、発災前の取り組みである防災・減災に関して、都内外の多様な団体の顔の見える関係、信頼関係のネットワークづくり目指し取り組みを実施しました。

- 防災とボランティアの集い(内閣府主催:1/22開催)への参画
- 多様な主体間における連携促進のための研修会(内閣府主催:2/8開催)への参画
- 他に、数多くの各区市町村ボランティアセンターやNPO/NGO、生活協同組合、労働団体、宗教団体等の取り組みに参画・協力しています。
- 理事会/運営委員会を通じた情報共有とネットワークづくり
  - 理事会 : 第一回理事会9/29、第二回理事会11/14、第三回理事会1/23、第四回理事会3/10
  - 運営委員会 : 第一回運営委員会10/6、第二回運営委員会12/15、第三回運営委員会3/15

## (2)第二期「アクションプラン」の推進

東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議の第二期「アクションプラン」を東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)との協働により推進しました。2022年11月にはCS-Tokyoの設立と共にアクションプラン推進会議に東京都が主体的に参画し、アクションプラン推進会議が、TVAC、CS-Tokyo、東京都による三者連携の場として位置づけられることとなりました。

### ◆多様な団体との連携

#### ①都内の様々な団体同士が知り合える場づくり

##### ○ブロック/東京都域で多様な団体が知り合える場づくり

第二期「アクションプラン」に基づき、ブロックをベースとして様々な団体が知り合えるよう、ブロック担当制を引き続き実施しました。なおCS-Tokyoは担当を持つことはなく、なるべく多くのブロックの取り組みに参画しました。

10/7	城南ブロック (品川区/渋谷区/目黒区/大田区/世田谷区)
11/8	島しょブロック (大島、利島、御蔵島、神津島、新島、三宅島、八丈島、青ヶ島、小笠原)
11/10、12/9	南多摩ブロック(八王子市/日野市/稲城市/多摩市/町田市)
12/20、2023/1/16	北西ブロック (立川市/昭島市/国立市/国分寺市/東大和市/武蔵村山市)
2/8	TVAC (区市町村行政・社協向け災害時ボランティア担当者会議)

##### ○情報の収集と発信(メルマガの配信/メディアとの連携)

メルマガ(災害ボランティア NEWS 東京)の配信

(10/7、11/9、12/7、1/11、2/8にイベント、講座/シンポジウム、訓練、ボランティア情報等を配信)

#### ②人材育成

##### ○首都直下地震等の大災害を想定した災害ボランティア活動連携ワークショップの実施

多様な団体によるワーキング・グループを設置して訓練を企画・実施しました。

日時 : 都域プログラム 2023年1月29日(日)13:00~17:30

スピノフ・プログラム 2023年2月7日(火)18:30~20:30

参加者 : 65名(都域プログラム37人、スピノフ・プログラム28人)

※生活協同組合、企業、NPO・NGO、社会福祉協議会、市民活動センター、居場所団体、子ども支援団体、人権団体、自主防災会「・地域防災協議会、まちづくり協議会、多文化共生団体、防災士関係団体、高校、マスコミ、専門家団体、学生

ボランティア団体、大学 等

企画 :2023連携WSワーキング

PBV、SVA、東京都生協連、都立大学、真如苑SeRV、北区社協、稲城市社協、連合東京、災害復興まちづくり支援機構、ADRA Japan、TVAC、CS-Tokyo

○「災害時のための市民協働 東京憲章」の周知・普及

2020年度に作成した「災害時のための市民協働「東京憲章」について、ワーキング・グループを設置し、様々な機会を通して、多様な団体に周知・普及する取り組みを実施しました。2023年9月1日が関東大震災100年という節目の年であることから2023年9月までの約9か月間を使い、計6回の勉強会を開催し、関東大震災と東京憲章を連動させて考えられる勉強会を企画しました。

【関東大震災100年「連続勉強会」】

第1弾 みんなで学ぼう関東大震災

日時:2022年12月21日 会場:飯田橋セントラルプラザ12階会議室 参加者:100名

第2弾 市民による救援活動の過去・現在・未来

日時:2023年2月21日 会場:飯田橋セントラルプラザ12階会議室 参加者:108名

第3弾 大規模災害都広域避難(疎開)

日時:2023年4月27日 会場:飯田橋セントラルプラザ12階会議室 参加者:108名

第4弾 東京の防災と多様性配慮①多文化共生 ※6/28を予定

第5弾 東京の防災と多様性配慮②ジェンダー

第6弾 関東大震災から考える東京の街づくり

企画:東京憲章普及アップデートワーキング

JPF、武蔵野市民社協、日野市社協、連合東京、減災と男女共同参画研修推進センター、都立大学、TVAC、CS-Tokyo

○アクションプラン推進会議全体での勉強会の実施

2022/11/18:防災/減災の取り組みについて 参加:24団体32名

2023/01/25:足湯ボランティアについて 参加:26団体33名

#### ◆災害発生時の仕組みづくり

○東京都災害ボランティアセンターの役割・機能の検討ならびに対応計画の策定

2021年度にまとめた「東京都災害ボランティアセンターのあり方」からの継続検討を実施しました。CS-Tokyoが設立したことに伴い、東京都生活文化スポーツ局都民生活部、TVAC、CS-Tokyoの三者で「東京都災害ボランティアセンター設置・運営のための詳細資料作成ワーキング」を設け、東京都災害ボランティアセンターの設置・運営に関する具体的な意思決定の方法、財政、役割・機能、平時の取組み等について検討しました。

第一回WG(12/22) WG設置の目的と検討内容について

第二回WG(1/24) 前回WGの継続

第三回WG(3/14) 第一稿作成に向けた確認について

#### ◆推進団体そのものに関する検討

## ①東京における民間団体ネットワーク組織の立ち上げ

団体名:災害協働サポート東京(略称:CS-Tokyo)

設立日:2023年8月17日(9月28日一般社団法人格取得/10月1日事業開始)

代表理事:市古太郎(東京都立大学)

理事:三原千佳(ADRA Japan)、岡本和幸(シャンティ国際ボランティア会)、福田信章(東京災害ボランティアネットワーク)、秋山純(東京都生活協同組合連合会)、杉浦賢次(連合東京)、明城徹也(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)、上島安裕(ピースボート災害支援センター)、山崎美貴子(東京ボランティア・市民活動センター)、浅野幸子(減災と男女共同参画研修推進センター)、小倉和子(SDGsいたばしネットワーク)

監事:関口宏聡(セイエン)、真島明美(連合東京)

顧問:青山やすし(令和防災研究所)

## ②東京都との連携・協働

### ○東京都地域防災計画改定に関する情報交換

2023年東京都地域防災計画改定に関する情報交換を東京都生活文化スポーツ局と実施しました。

<具体的な修正案:ボランティア・市民活動分野>

- 1)社会福祉協議会・市民活動団体との連携及びネットワーク形成の推進
- 2)災害時におけるボランティア・市民活動団体等との連携
- 3)災害救助法における国庫負担の対象拡大(災害VC関連経費)

### ○東京都・TVAC・CS-Tokyo等の定期的な意見交換の場の設置

- 1)東京都生活文化スポーツ局都民生活部、総務局総合防災部との情報交換/意見交換の場を設けました。

第1回 2022年10月12日(水) 第2回 2023年3月22日(水)

- 2)東京都生活文化スポーツ局都民生活部、TVAC、CS-Tokyoとの定期協議

第1回2022年11月18日 第2回2023年1月10日 第3回2023年2月22日

主な議題:1/20の図上訓練・2/8区市町村災害担当者会議について地域防災計画の改定について、総合防災部との意見交換について、次年度東京都総合防災訓練について、第三期「アクションプラン」の策定に向けて、等

### ○東京都図上訓練への参加および連携

日時 2023年1月20日(金)10時00分~12時00分

場所 TVAC会議室C/オンライン

内容 ①東京都主催の図上訓練に連携参加

②東京都作成の被害シナリオを地図上にプロット

③災害 VC 設置の連絡(足立区総合 VC)

④都内災害 VC 設置状況および市民活動団体の活動状況を東京都生活文化スポーツ局を通して東京都災害対策本部へ情報提供

### ○区市町村行政・社協向け 災害時ボランティア担当者会議

日時 2023年2月8日(水)10時00分~11時50分

場所 東京都消費生活総合センター

参加者 区市町村38地区、市民活動団体8団体 合計94名

内容 東京都総合防災部／都民生活部からの情報提供

「アクションプラン」の取組状況の報告

府中市からの取組み事例紹介

※午後は内閣府主催「多様な主体間における連携促進のための研修会」を実施。

○全国団体・他県団体との関係の強化

JVOADが主催している「第二回災害中間支援全体会(第三回被災者支援コーディネーション委員会/第二回災害中間支援全体会 合同会議として2/24に開催)に参画しました。

### (3)その他

#### ①各種人材育成事業の検討

各団体/各分野でどのような人材育成が求められているのか、またどのような対象者/方法でおこなわれているか調査し、東京に求められる人材の中で災害協働サポート東京として取り組むべき人材育成事業を検討しました。

- 具体的な検討の場は設けられていませんが、アクションプラン推進会議で取り組まれている各区市町村VCやブロックでの研修や訓練、連携WSや東京憲章勉強会等でのプログラムや対象、効果について、事務局サポートのTVACとともに調査・検討を進めています。
- 来年度検討される第三期アクションプランでの人材育成との兼ね合いを考えながら検討の場を設けていきます。

#### ②災害時を想定した団体間の連携訓練の検討

首都直下地震や江東5区大規模水害などの東京での大災害時や、離島や山間部での局所的災害を想定した団体間の連携訓練として、東京都災害ボランティアセンターの訓練を検討しました。

- 具体的な検討の場は設けられていませんが、アクションプラン推進会議で取り組まれている各区市町村VCやブロックでの研修や訓練、連携WSや東京都との定例会等で、連携訓練の目的や方法、プログラムについて、事務局サポートのTVACとともに検討を進めています。
- アクションプランで取り組まれている連携WSとの位置づけの違いを確認しながら、検討の場を設けていきます。

### (4)災害発生時の対応

東京都災害ボランティアセンターが設置される災害が起こっていないため、事業は実施していません。